

「自由貿易と環境保護」

～ 1992年2月GATT報告書～

発表者

新井 紫織 工藤 洋平 米井 小織

発表の流れ

- 3、**「国内」環境問題と世界貿易**
- 4、**汚染物質の拡散と多国間の協調**
- 5、**保護政策と環境**

3、「国内」環境問題と世界貿易

序

競争力の問題

環境問題の出現～(コラム3)

競争力の問題を正しく把握する事

競争力:高い基準に反対する～(コラム4)

他国の環境問題の優先順位についての発言権の主張

貿易政策の役割は何か？

序

国内環境問題



- ・基本的に国内政策によって解決可能
- ・経済効率の観点からも差別的貿易政策は問題の解決にはならない

しかし以下の2点から、**問題は国際化**

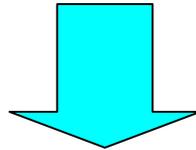
- ・各企業の競争力に関連するもの
- ・外国の環境問題の優先順位に対する干渉

競争力の問題

グローバル化の進展



- ・ GNPに占める貿易比率の増加
- ・ 国外投資の劇的な増加



世界経済の中で不公正貿易を排除する動き

厳しい競争の中で競争相手に対して不公正という主張が多くなされるようになる

環境問題の出現

生産費用に与える環境政策の影響

国内の製造業者から

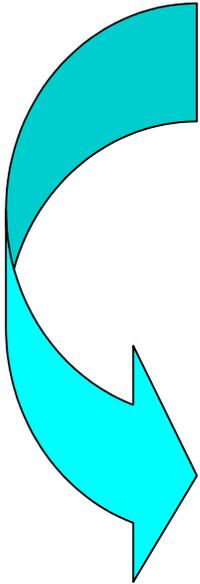
「同じ土俵(= 環境基準等)での競争」への要求

環境団体も支持、「環境のダンピング」

自国の、より高い環境基準に合わせる

dirty process の製品に対する特別関税

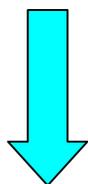
国内企業に対してより高い環境基準に対応する為の補助金



基本的に高所得国は低所得よりも 厳しい環境基準を設定する傾向

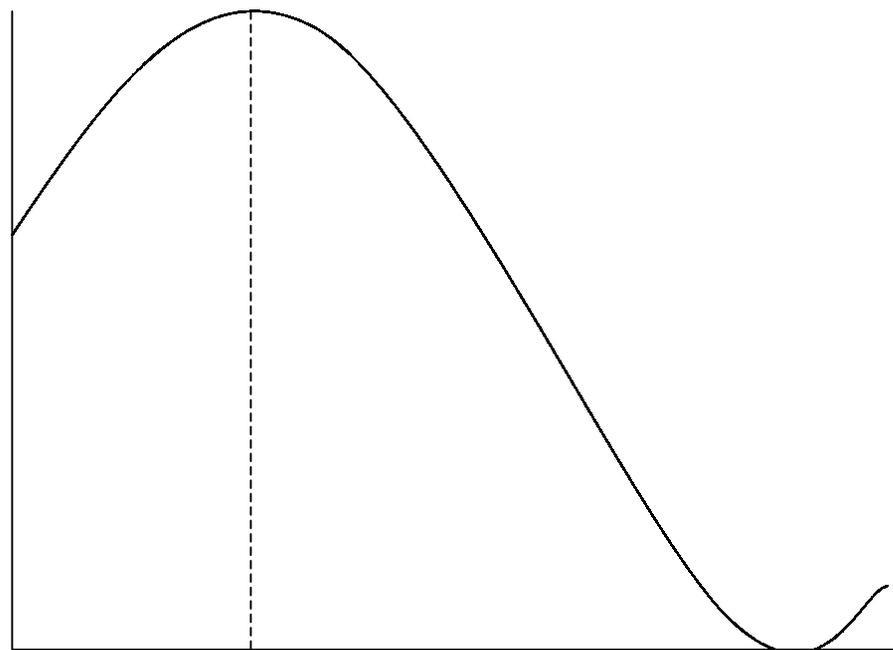
コラム3 所得と汚染

経済成長



必ずしも汚染を増大
させる訳ではない！

二酸化硫黄増加量

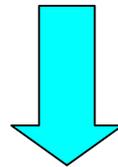


5000米ドル(一人当りGDP)

低所得国における低い環境基準

批判の根拠にはならない(前項より)

そもそも環境基準の相違以外にも競争力に影響を与える要因がある！

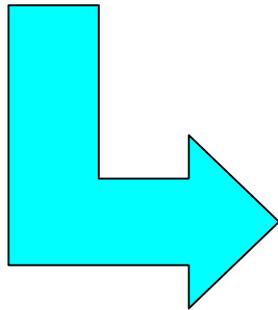


**特別関税の課徴を許せば1930年代の
ような混乱した貿易状況に陥る危険**

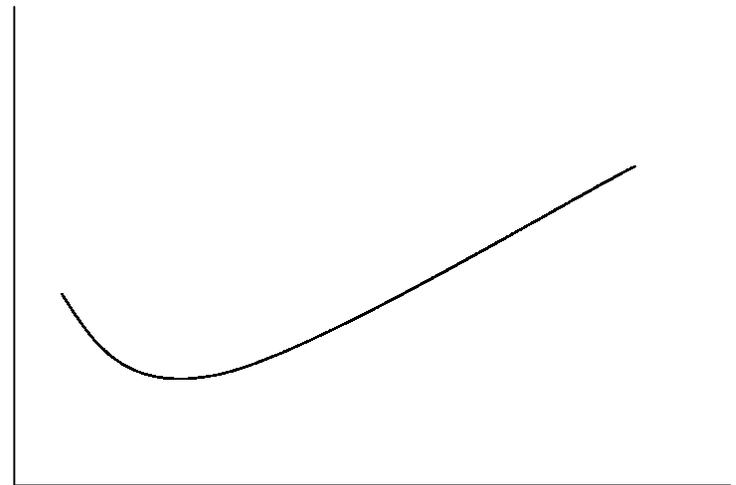
競争力の問題を正しく把握すること

- 環境規制の強弱による投資先の大転換は無い
環境コスト削減 しかし他のマイナス要素
により相殺される
- 環境規制と競争力

Jカーブ



競争力



時間

競争力：高い基準に反対する

生産に関する汚染のコントロール

立場が異なる

消費に関する汚染のコントロール

厳しいコントロール

基本的に同じ立場(生産地は無関係)

競争力による摩擦は大幅に削減される

健康と安全に関する汚染のコントロール

同じ基準設定は問題ない

貿易紛争が起こりやすく、かつ激しい

理由

- 消費者の受け止め方と心理
- 基準があやふやな科学的根拠による
- リスクへの対応が政府により異なる
- 各国自らの主権を行使すべき問題だという意識が強い。

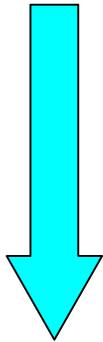
(ex 成長ホルモンを使用した食肉牛)

各国間の懲戒規定と公正な紛争処理機構を利用できるようにしておくことが必要

他国の環境問題の優先順位についての発言権の主張

発言権

環境問題の優先順位について自国の主張に他国が従わない時



他国での生産過程について口を挟む

EX) メキシコ産マグロの米国輸出問題

日本のタイマイの甲羅の輸入

しかし一方的に他国の貿易の権利を妨害できない

他の選択肢

- 消費者運動
- 多角的環境協定

貿易政策の役割

国内環境問題 貿易政策は最適な対処方法ではない。

では、問題が国際化したらどうなるのか？

競争力の問題について 最適方法ではない。

- ・貿易拡大の機会を奪う。
- ・外国が環境政策を変更するとは限らない。
- ・低所得国の輸出品に大打撃

環境問題の優先順位について干渉された場合 強制力の有無について

非協力的な国の環境政策や慣行を変更させる
最高の手段ではない。

理由・ 同様の行動を誘発するリスク
・ 差別的

GATT上の義務の順守の点で深刻な問題

代りに多角的協定を結ぶ場合

非締約国を従わせるために貿易政策の
利用の問題を処理しなければならない。

4、汚染物質の拡散と多国間の協調

汚染物質の拡散と多国間の協調 ~ (コラム5)

多角的貿易協定における貿易措置

環境問題に関する協調の促進

汚染物質の拡散と多国間の協調

汚染物質の拡散に関連する環境問題の解決

- 多国間の協調が必要
- 一方的な貿易制限は非効率

多国間協調の際、考慮されるべき問題

効果の問題, 公平の問題

森林の濫伐と地球温暖化問題

地球温暖化問題を考える際のアプローチ

- 二酸化炭素の排出量の削減
- 森林濫伐のスピードの調節

コラム5 熱帯産木材の貿易規制

1) 木材の輸出入制限

森林保全(濫伐の削減)に僅かな影響しか及ぼさない

2) 炭素吸収サービスに対価を支払う

木材輸出国は森林保全に向かって政策、行動の方向転換を図る

多角的貿易協定における貿易措置

始めから協調を拒絶する場合の理由

- 1、科学的な証拠が不十分
- 2、優先順位が低い
- 3、責任の分担についての意見の不一致
- 4、フリーライダーになろうとする

しかし！

- 参加しても、全ての国が実際に活動することは必ずしも必要でない
- 参加しないと、政治問題を起こしかねない



参加国を集めることは難しいことではない！

協調の促進

プラスのインセンティブの例

- 対外援助の増加
- 債務の軽減化
- 貿易障害の無差別な削減
- 技術の移転
- 財政援助



各国の自主的な協調を促す最良の手段

マイナスのインセンティブの例

『環境問題に**無関係**な輸出品に対して罰則を与える貿易政策』



経済摩擦により、今後の政府間で協調する可能性は低下



協調を促進する友好的な方法とは言えない

環境協定の中の貿易規制

目的

協定の内容の裏をかくような非締約国と締約国の間の貿易を防止する



環境問題に直接関係する非締約国の製品
を不利に扱うという副次的効果

環境協定の中の貿易規制の例

モントリオール議定書

5、保護政策と環境

序

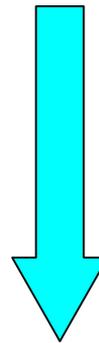
農業と環境

保護政策と貿易政策の相互作用

序

環境破壊の恐れのある政策

実例は多い(農業、林業、運輸、エネルギー)

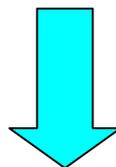


こうした状況下で所得の増加と環境の改善を
いかにして達成するか

農業と環境

近代的農業が自然環境の劣化をもたらしている

貿易の自由化によって改善されるか？



所得

生産力の再配置により、低所得国・高所得国双方に所得の増加がもたらされる

環境

自由化による環境影響の変化の予測は難しい
化学肥料と殺虫剤の使用は減少か

確実に言える事は、農業保護政策は環境劣化の重大な原因

低所得国への農業生産の移転が 森林消失を招くという不安



労働力・資本投入量は農産物生産者価格に敏感に反応するが、耕地面積は反応せず

生産者価格の上昇に反応した耕地面積拡大(森林伐採)は、森林消失の一因に過ぎない

(前出コラム参照)

高所得国における保護主義的

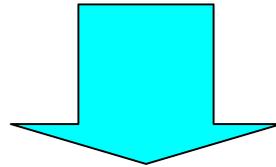
農業政策の自由化による成果

世界的に化学肥料・農薬使用量減少

食品や自然界の残留農薬量も減少

森林消失の速度が穏やかになるような影響を与える

高所得国における土地利用の変化



新たな環境政策を要せずして、農産物の貿易自由化によって環境改善が図られる！

環境政策と貿易政策の相互作用

貿易と環境の関連について関心が高まるにつれ、新たな保護主義が喚起される恐れ

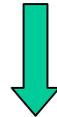
最も環境に効果的な政策が、産業の「公正な」政策に置きかえられてしまう

効果的な政策を取る事が政治的に不可能な場合



効果の劣る保護貿易政策という選択

しかしGATTルールによる制限



GATTルールが環境的に好ましくないという印象

**しかし効果の劣る政策を正当化するためにGATT
ルールを改正するわけにはいかない**

正しい環境政策へのインセンティブ

まとめ

(少なくとも農業に関しては)新たな環境政策を要せずして、農産物の貿易の自由化によって環境改善が図られる！

無差別の国内環境政策が環境対策として最も効果的であり、その採用のインセンティブの為にもGATTルールを遵守すべき！

参考文献

地球環境問題と企業 (山口光恒)

地球環境と成長 (F・ケアンクロス)

OECD: 貿易と環境 (OECD編集)

自由貿易と環境保護1 (谷際・中野・足立 / 2001年)

WTO発表 (容リパート / 2000年)

WTO発表 (ゼロエミッションパート / 2000年)